

平成 30 年度 第 1 回四日市市文化財保護審議会 議事録概要

日時：平成 30 年 8 月 21 日（火）

13：30～15：20

場所：四日市市役所 9 階教育委員会室

【出席者】

桐生 定巳 委員 加田 勝敏 委員 上野 秀治 委員 鬼頭 秀明 委員 久志本 まどか 委員
朝倉 由希 委員 井上 喜久男 委員 柳澤 宏江 委員 瀧川 和也 委員 道田 美貴 委員
清水 弘子 委員

（事務局）松岡副教育長 社会教育課：川尻課長 葛山課長補佐 吉田 清水 山根 堀越

【傍聴者】

なし

1. 開会（事務局：課長）

事務局： 定刻になりましたので、ただいまより平成 30 年度第 1 回四日市市文化財保護審議会を始めます。石田委員・武田委員・神野委員が欠席です。過半数に達していますので、四日市市文化財保護審議会運営規則第 6 条 2 より会議が成立したことを確認させていただきます。本委員会は、公開としておりますが、現在のところ傍聴者はいません。

では、事項書にそって進めます。6 の協議事項は、非公開とさせてもらいたいと思いますがそれでよろしいでしょうか。

委員：異議なし

課長：ありがとうございます。それでは、副教育長よりごあいさつ申し上げます。

2. 副教育長挨拶

副教育長： 皆さん、こんにちは。副教育長の松岡でございます。どうぞよろしくお願ひします。平素は、本市の文化財保護行政の中核にあたる当審議会にご尽力を賜わりまして、厚く御礼申し上げます。

本市では、昨年度、新たに「日永うちわの製作技術」を指定文化財とし、平成 29 年度末現在で、指定文化財が 110 件、登録文化財が 40 件となりました。文化財の内容も多岐にわたっておりますので、各分野で皆様にご指導いただいていることに感謝申し上げます。本市の文化財保護事業では、文化財を保護すると同時に、その価値を伝えていくことや、それぞれの文化財に応じた活用を進めることによって、市民の皆様へ還元しているところです。

現在進めております「久留倍官衙遺跡整備事業」につきましては、3 月 25 日にガイダンス施設「くるべ古代歴史館」をオープンさせ、現在までに約 3,600 人の方に来館いただいております。本年度は、文化庁の補助金を活用して、八脚門の復元工事を中心に事業を進めているところです。

また、ユネスコ無形文化遺産「鳥出神社の鯨船行事」につきましては、8 月 15 日に「鳥出神社の鯨船行事 見学と体験ツアー」を開催しました。雨のため計画を変更したところもあ

りましたが、市内外より定員を超える 45 名の方に参加いただいて、「水しぶきがその迫力を増して感動した」などの意見もあり、楽しんで帰られたと聞いております。

さらに、地方創生事業の一つとして、「旧四郷出張所を中心とした街並み啓発事業」に取り組んでおります。昨年度は残念ながら台風のため中止となりましたが、本年度も 10 月にウォーキングを予定しています。あすなろう鉄道線利用促進事業とも関連させて、多数の参加者を期待しているところです。

また、本日は、新たな文化財の指定や文化財指定の候補について、ご協議をいただきたいと思っております。委員の皆様方のさまざまな視点から、ご意見を頂戴できましたら幸いです。

最後になりましたが、本年度から、四日市市文化財保護審議会の委員として、新たに考古分野で、神野 恵先生にご助力を賜ることになりました。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

簡単ではございますが、私のあいさつとさせていただきます。本日は、どうぞよろしくお願ひします。

3. 委員の自己紹介

事務局： 今年度から改めて平成 30 年 4 月 1 日から平成 32 年 3 月 31 日まで 2 年間の任期となっております。よろしくお願ひします。また、今年度より考古の分野で新たに神野恵先生にご参画いただいております。任期改めまして委員の皆様一言ずつお願ひします。

(「四日市市保護審議会委員 名簿」参照)

4. 会長・副会長の選任

事務局： 事項書 4 番。会長・副会長の選任。会長・副会長の選任はどのようにさせていただきますか。

委員：事務局一任。

事務局： ありがとうございます。事務局からの案としまして、会長に桐生委員、副会長に上野委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

委員：異議なし。

事務局： 異議なしということで、会長を桐生委員、副会長を上野委員にお願いいたします。

5. 報告

事務局： では、事項書 5 番。報告事項ですが、ここからは、会長に（進行を）お願ひします。

会長： では、5 番目の報告事項です。(1) 番平成 29 年度文化財保護事業について事務局より報告お願ひします。

事務局： 資料を参照いただきながら報告させていただきます。

(1) 平成 29 年度文化財保護事業について

(「平成 29 年度文化財保護事業について (報告)」参照)

(2) 平成 30 年度文化財保護事業について

(「平成 30 年度文化財保護事業について (予定)」参照)

会長： ありがとうございます。平成 29 年度文化財保護事業・平成 30 年度文化財保護事業について報告いただきました。何かご意見・ご質問はありますか。

【質疑】

○[久留倍官衙遺跡保存活用事業]について

A 委員： くるべ古代歴史館の認知度はどれぐらいですか。また、どこから来館していますか。

事務局： 認知度については、四日市市内においては、ある程度広がっていると感じていますが、一方でまだ知らない方もみえると思うので、さらに努力していく必要があると思っています。

どこから来館されているかについては、(来館者には) アンケートをとっていますが、任意なので全てを把握している訳ではありません。ですが、話を聞いていると、福井県など県外からみえられている方もいます。愛知県・岐阜県・奈良県など近隣の県からも結構来館されています。四日市市内では、夏休み期間中、宿題などで毎日 20 人～50 人の親子が来館されています。聞いてみると市内全域からきています。そういう点からお子さんにも活用してもらっていると感じています。

事務局： 開館当初の 3 月からゴールデンウィークまでは、たくさんの方に来ていただいていたので、それ以降は少し落ち着いて、夏休みになってまた親子での来館が増え始めた感じです。地元の方の来館が多いです。今年度の目標を 5500 人としておりまして、開館当初にたくさんの方に来館していただいたので、その目標は達成すると思っていますが、開館当初の勢いはないので、これから来ていただけるイベントを開催していく必要があると思っています。展示内容に加えて古代体験も PR していきたいと考えています。

B 委員： 私の家は鈴鹿に近いです。鈴鹿には鈴鹿市考古博物館があって、娘がそこで勾玉作りをさせてもらった。くるべ古代歴史館でもクラス単位で活動できるんですか。

事務局： 7 月に大矢知興譲小学校に来ていただいたり、10 月に朝明中学校が学習を予定していたりします。このように近くの小中学校で利用してもらっています。

事務局： 先生方向けの研修会も実施して PR しています。ただ、交通の便が悪いので課題ではあります。また、多人数が入れる部屋がないので、(別々で来てもらうなどして)工夫していく必要があります。

6. 協議事項

(非公開)

7. その他

(非公開)

8. 閉会

事務局： これをもちまして平成 30 年度第 1 回四日市市文化財保護審議委員会を終わります。お忙しいところありがとうございました。